

日本広告学会関東部会 学生広告論文賞 執筆要領 (ver. 1.6)

1. 提出物

- (1) 論文は「原稿」「論文要旨」「タイトルページ」をワンセットにして提出してください。
「論文要旨」は論文の概要（目的、方法、論旨、結論など）を「2. 原稿の書式」に従って2枚以内でまとめてPDFファイルで提出してください。
「タイトルページ」は学会HPから書式（MS-WORD ファイル）をダウンロードして必要事項を記入したうえで提出してください。ファイルはMS-WORD ファイルのままです。
- (2) 審査は、匿名評価（ブラインド・レビュー）によって行いますので、「タイトルページ」以外（「原稿（付録を含む）」「論文要旨」）には応募者の氏名、所属大学、所属ゼミナールを書かないでください。特に、付録として原稿に付けられた質問票に応募者の所属ゼミナールが記載されていることがあります。必ず消去してから提出するようご注意ください。
- (3) 「タイトルページ」だけでなく「原稿」と「論文要旨」にも必ず論文タイトルを記入してください。

2. 原稿の書式

- (1) 原稿は、原則としてPDFファイルで提出してください(手書き原稿は受理しません)。
- (2) 使用言語は日本語とします。
- (3) ページ設定はA4判横書き、1ページあたり40字×36行とします。
- (4) 文字のフォントおよびサイズは下表のとおりとします。

区分	フォント	サイズ	配置
本文	明朝体	10.5ポイント	左寄せ
タイトル	ゴシック体	16ポイント	中央揃え
執筆者名	ゴシック体	14ポイント	右寄せ
章見出し	ゴシック体	14ポイント	左寄せ
節見出し	ゴシック体	12ポイント	左寄せ
項見出し	ゴシック体	10.5ポイント	左寄せ
注	明朝体	9ポイント	左寄せ
参考文献	明朝体	9ポイント	左寄せ
図表見出し	ゴシック体	10.5ポイント	中央揃え
図表下注・出所	ゴシック体	9ポイント	右寄せ
英数	Century (半角)	日本語の各項目に準ずる	同左

- (5) 原稿は、上記書式で25枚以内（図表、注、参考文献、付録を含む）とします。
- (6) ページ番号を振ってください。

3. 論文の構成と見出し記号

章・節・項のナンバリングは次の要領で行ってください。

- (1) 章見出し—I・・・・II・・・・(ゴシック体、14ポイント、全角、上下1行あけ。)
- (2) 節見出し—1・・・・2・・・・(ゴシック体、12ポイント、全角、上1行あけ。)
- (3) 項見出し—(1)・・・・(2)・・・・(ゴシック体、10.5ポイント、全角、行をあげない。)
- (4) その他項目列記—①・・・・②・・・・(明朝体、10.5ポイント、行をあげない。)

4. 図・表の挿入と形式

- (1) 図や表はコンピュータ等を用いてきれいに作成してください。
- (2) 図と表は明確に区別し、それぞれ別個に番号を付けたうえで、図や表の上部にタイトルと共に記述してください。(例：図1 ○○○、表1 ○○○。ゴシック体、10.5ポイント)
- (3) 図や表は著者がオリジナルに作成したものを使用してください。引用の場合は出典を図や表の下部にゴシック体、9ポイントで示してください。

5. 注

- (1) 注は原則として脚注ではなく論文末に別々に置いてください。
- (2) 注は本文を補完する解説文ですが、これは最小限にしてください。
- (3) 本文には該当箇所¹⁾の右肩に小さく半括弧で連続番号を付け(例えば・・・の場合¹⁾、・・・とされている²⁾)、論文末の最初に<注>(ゴシック体、12ポイント、上1行あける)とし、番号順に表記してください。

6. 引用

- (1) 本文中で引用箇所を表示する場合、引用文献の著者名、発表年を記載してください。また、特定のページからの引用の場合、そのページも記載してください。

【例】

岸(2010)によれば、・・・である(p. 60)。

Leonard and Ashley(2012)は、・・・している。

・・・とされている(岸2010、pp. 60-62)。

・・・が主張されている(岸2010; 石崎2005)。

- (2) 著者・発行年が同一で異なった文献を表示する場合は、発行年の後に a、b などのアルファベットを付して、本文中および文末の参考文献において区別してください。

【例】

<本文中> (石崎 2011b)

<参考文献> 石崎徹 (2011a)「*****」・・・

石崎徹 (2011b)「●●●●●●」・・・

7. 参考文献

- (1) 参考文献は論文末（注の後）に＜参考文献＞（ゴシック体、12ポイント、上1行あける）として、和文、欧文の順で、和文は著者の五十音順に、欧文はファミリーネームのアルファベット順に並べてください。
- (2) 参考文献が図書・論文の場合は、ハーバード方式に準拠し、次の要領で表示してください。

＜和文単行本の例＞

小林太三郎（1968）『広告管理の理論と実際』同文館。

＜和文雑誌論文の例＞

八巻俊雄（1980）「広告表現の国際比較」『広告科学』第6集、46-59。

＜和文所収論文の例＞

小泉真人（2012）「広告予算と広告会計」石崎徹編著『わかりやすい広告論 第2版』八千代出版、84-99。

＜欧文単行本の例＞

Lane, R., K. W. King and T. Russell(2005), *Kleppner's Advertising Procedure, 16th ed.*, Prentice-Hall, Inc.

＜欧文雑誌論文の例＞

Aaker, D. A.. and J. A. Carman(1982), “Are You Overadvertising?,” *Journal of Advertising Research*, 22(4), 57-70.

＜欧文文献で翻訳がある場合の例＞

Kotler, P., H. Kartajaya and I. Setiawan(2010), *Marketing 3.0: From Products to Customers to the Human Spirit*, John Wiley & Sons（恩藏直人監訳、藤井清美訳（2010）『コトラーのマーケティング3.0』朝日新聞出版）。

- (3) 参考文献が新聞または一般雑誌の記事の場合は、次の要領で表示してください。
 - (a) 署名記事の場合、論文と同様の形式で表示してください。
 - (b) 無署名記事の場合、本文中において引用・参考の該当箇所に注を付け、注において新聞または雑誌の誌名、記事名、発行日付（新聞）あるいは号数（雑誌）を表示してください。
- (4) 参考文献がウェブサイト上の記事の場合は、参考文献の次に＜参考サイト＞として管理機関・管理者のアルファベット順に、①管理機関・管理者名、②記事のタイトル、③URL(カッコで表示すること)、④アクセス日時、を記載してください。

【例】

電通「2011年 日本の広告費」(http://www.dentsu.co.jp/books/ad_cost/2011/index.html)、アクセス日時：2013年2月5日。

上記の執筆要領に違反している場合には、失格となることがあります。